

令和5年度 地理歴史科 「日本史A」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～E組 選択者
教科書	改訂版 日本史A（山川出版社）	副教材等	最新 日本史図表・詳録 日本史史料集成（第一学習社）

1 学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
前期	4	序章 近代への胎動	・日本をとりまく世界情勢	幕藩体制の動揺と世界の中で日本の置かれた状況、幕府の対応について把握する。	・幕末期の日本の置かれた状況を把握できているか。
	5	第1章 開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	開国、幕府の滅亡と新政府の成立からの明治時代の近代日本の歩みについて、アジアにおける国際環境と関連づけて考察する。	・開港から明治維新にいたる政治状況について理解しているか。
	6	第2章 立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	国民生活の変化について学習する。	・自由民権運動から立憲国家の成立過程について考察できたか。
	7	第3章 第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の反映	立憲体制の成立とその展開、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目し、近代産業の発展と近代文化の特色についても考察する。	・日本の外交について世界史の動向も踏まえながら考えられたか。
	8			第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について、世界情勢と国内の動きを関連付けて考察する。	
	9				

学 期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
後 期	10	第4章 昭和の 恐慌と満州事変	・ 恐慌の時代 ・ 政党内閣期の内政と 外交 ・ 軍部の対等	政党内閣の崩壊と軍部の台頭という国内情勢の変化を 理解する。	・ 日本が太平洋 戦争にいたるま での様々な状況 について理解で きたか。
		第5章 第二次 世界大戦と日本	・ 日中戦争 ・ 重化学工業化と統制 経済 ・ 第二次世界大戦と太 平洋戦争	日中戦争から太平洋戦争に至る国外情勢と経緯を学習 するとともにその実態について理解する。	・ 近代戦争の実 態と戦争が一国 および世界全体 に与える影響を とらえることが できるか。
	11				
	12	第6章 占領下 の日本 第7章 経済繁 栄と保守長期	・ 占領と改革 ・ 冷戦の開始と講和 ・ 55年体制 ・ 高度経済成長期の経 済と社会	第二次世界大戦終結後の国際関係の推移に着目して、 占領政策と諸改革、新憲法の制定、平和条約の締結と 独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と新 しい外交の確立について考察する。	・ 終戦と戦後日 本の復興につい て把握できた か。
	1	第8章 現代の 世界と日本	冷戦の終結と日本	戦後政治の動向と国際社会、経済の発展と国民生活に ついて考察する。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日本の歴史的事象に関心を持ち、課題意識を持ち、意欲的に追究しているか。
思考・判断・表現	日本の歴史的事象について多角的、多面的に考察しているか。
資料活用の技能	史資料や地図を用いて、歴史的事象についてより深く追求し、理解することができるか。
知識・理解	日本の歴史的事象に関する基本的な知識を身につけ、理解しているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に判断する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

日本史という一国の歴史を扱う科目ですが、世界史の動向もおさえながら授業に臨むことでより理解が深まります。ぜひそちらも合わせて考えていきましょう。また、近年の大学入試では、史料を読む問題が多く出題されている傾向にあります。授業のみならず、普段から史料に触れることを意識して学習を進めてください。
--